

令和5年度川口市文化芸術審議会第3回文化芸術拠点活用方法検討作業 記録簿

日時 令和5年11月8日(水) 14時～16時

場所 川口総合文化センター 2階会議室

出席者 (委員) 原田会長

寺久保委員 山下委員 宇田川委員

川田委員 齋藤委員

(事務局) 藤田文化推進室長 菅井室長補佐 尾崎主任

(受託事業者) 7名

	発言者
冒頭挨拶	
【1 開始】	
【2 会長あいさつ】	
【3 前回作業記録簿確認】	
【4 検討内容 文化芸術拠点活用方法の検討について】	
<受託事業者による資料1・2の説明>	受託事業者
恐らく本日の資料のフレームが報告書の目次構成になるのではないかと思います。このフレームにさらに肉付けし、また参考事例をヒントにしながら運営方法を検討していく。	会長
いつも通り、ご自由にご意見をいただきたい。	
全体のまとめ方はどうか。一番の骨格の要素はこれでよろしいか。	
問題ない。	委員一同
皆さんからのご意見を前に、私のほうから感じたことを申し上げますと、例えばフレームの2番。川口の「ダイバーシティ」「子育て」などが挙げられている。近年社会の一つの目標として「DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」がよく言われている。この委員会での結論として、単なる美術館ではなく、DE&Iを実現するための手段としての施設であると結論づけられると良いと感じている。	会長
また、2-3の商店街等に対する経済効果、及び4-1様々な経済への波及効果について、今回は特に求められていることではないが、最終段階では、美術館をつくったことにより地域や商店街がどのように活性化されたか、そういった事例や研究データがあれば、川口でも経済効果が期待できるという	

<p>資料を次回までに探していただくと良い。</p> <p>夜間解放や駅前の地域全体のこともあるので、先ほどの徳島の事例のように、ライトアップについても触れてもらえると良い。</p> <p>また、先ほど申しあげた経済効果について、ニューヨークが文化芸術でどれだけ経済効果があったかを示す資料を自身で持っている。文化芸術で市が活性化する事例として、報告書の片隅に参考情報として入れていただくと良い。</p> <p>2-3の子育て支援については、港区での事例も同様に参考例として報告書に記載いただくと良い。</p> <p>欧米では美術館を中心に町全体をアートにして文化芸術を高めていくという事例が多くある。その辺りにも触れていただくと良いと感じた。</p>	
<p>会長がおっしゃった DE&amp;I について、今までの美術館は専門的な情報が必要とされてきたが、今後は文化施設を作ることによって街づくりになり、暮らしに活かされ、国づくりにつながるものが眼目だと思う。今後は美術館が「どのように」発展していくかを検討し方向性を出さなければならない。また、「多様なものを」という視点は大変だが、特に川口は人種なども多種多様な方がいるため、日本の未来のモデルになる都市になり得る自覚をもち、また成功させていくことが使命だと思う。だからこそ文化という視点から DE&amp;I を念頭に先を見据えて整備していく必要がある。また、運営面ではそこまで考えてくださるのか、政治家も含めて本気で検討していく必要があると思う。</p>	委員
<p>DE&amp;I の意味合いを教えていただきたい。</p>	委員
<p>D=ダイバーシティ。(多様性、男女・外国籍・LGBT 等に関する事項)</p> <p>E=イークイティ。(公平性)</p> <p>I=インクルージョン。(包摂性、ダイバーシティと同義語だが、様々な人がいるという意味)</p> <p>これからの社会は DE&amp;I の社会をつくるべきであり、大きな社会の流れである。</p>	会長
<p>意見としてはアメリカ(西洋)の考え方が強いのかと思う。</p> <p>個人的な意見ではあるが、西洋では10%の美しいものがあり、残りの90%はそうではないと感じている。明暗が非常に強い激しい社会であるが、わが国は苛烈な社会を経験していない。比較すると小さく見える。ただし、違いがあってもよりよい社会を先祖が作ってきていて、その貯金で過ごせていると感じている。西洋の人たちが実現していることは、我々が実現していくには難易度が高いのではないかと気になっている。</p>	委員

<p>しかし、わが国でも歴史から繋がっており先祖の英智は素晴らしいものがある。外国のものを取り入れるだけではなく、祖先が培ってきたものを取り戻すようにしていったらどうか。抽象的なことを申し上げているが大きな問題であると感じる。</p>	
<p>委員から「川口が日本に先駆けたモデル都市になる」という発言があったが、自分自身が川口市に住んでいる中でどのような町かを考えると、外国人の方がいるなかで、他の地域よりも働き盛りの世代や子どもが多く活気がある。川崎など似たような町はあるが、モデルケースとなる町はない。川口市は時代を先取りしていると感じるので、次の時代に実現することを考えなければならぬ町であることを考えると、他の自治体で実施されたことはある程度参考にはなるが、他の自治体がやっていないことに踏み込んでいく必要があると思う。</p> <p>自分世代としては美術館が行政にとって「お荷物」になってしまうことに対する恐怖感もある。30年後、50年後の世代の人たちが「美術館があっただけよかった」と思えることが重要だと思う。そのために前例のない事項をどのように考えていくか検討する必要がある。</p> <p>また、前の会議にて「文化・カルチャー」が社会の中心になるように、という話題が出たが、日本の場合、「文化・カルチャー」と「芸術・アート」が乖離していると思う。特に「アート」という言葉は、リベラルアーツに起因しており、リベラルアーツは「教養」として用いられている。教養を考えた時に、アートを知っていることが一つの教養になっている。それが文化と繋がっているが、アートの作品だけが切り離されている。「見る教養」や「ひとりひとりが楽しむ教養」といったことが美術や芸術から切り離されている。「見る」「楽しむ」ということを、もう少しカジュアルに皆さんに浸透させていけば、美術館だけでなく川口の文化水準が底上げされ、自ずと美術館の存在意義もあがるのではないかと。</p>	<p>委員</p>
<p>リリアが建設されたときに反対意見もあり当初はなぜ結婚式場がないのかとよく聞かれたが、今ではそれで良かったと思う。今回の美術館も、「つくられてよかった」「良い施設ができた」と思ってもらうことが大切だと思うし、そうでないと何の意味もないのではないかと。</p> <p>ちなみに現在、リリアの管理は市役所がやっているのか。</p>	<p>委員</p>
<p>もともと市のものであるが、公益財団法人川口総合文化センターが運営している。センターの理事長は市長である。</p>	<p>事務局</p>
<p>運営方法としては資料のどこに入るのか。 →Bの指定管理である。</p>	<p>委員 事務局</p>

<p>美術館の審議会の頃より関わっているが、50年以上前の川口駅前開発の際、リリアも駅前開発と一貫したものであったと思うが、その時は大反対であったと聞いた。今回も同様に、実現させるには、市長レベルの市のトップの皆様が、しっかりとビジョンを持ってもらいたい。そうしなければ議会からも反対が出ると思う。</p> <p>建設は決定している。敷地を含めどう統合化させるか等の独創的な「運営」が重要。</p>	委員
<p>過去を振り返ると、90年代にリリアを作ったが、その頃、劇場界でも注目を浴びた。当時は多目的ホールから専門劇場への流れがあり、「本物」を上演する場であるかどうかが劇場の価値観になっていた。自身は、埼玉に芸術劇場を作るときに埼玉に来たが、世界に誇る専門劇場を作らなければならないとして題材を絞った。その中で音楽が第一で、ダンス・コンテンポラリーを強く押し出して世界の芸術家を招いたこともあり、川口で演劇を再生できないか模索したが難しかった。その代わり、コンサートホールがあったことは大きい。近隣にはない専門性があるホールがあることで、音楽家の人たちのモチベーションがあがった。</p> <p>上記を踏まえ美術館であっても、名画を所有しているわけではないのであれば、美術館は若い世代の人たちが挑戦できる場であってほしい。埼玉芸術劇場の際には市民が主体ということ欠けていた。市民が主体であり、市民が工夫をして、市民が喜んでくれるものでなければならない。そういった展示が必要。そのために良いたたき台ができていると思う。</p> <p>美術館は不要であると思っている人もいる。市民をこれから味方につけていく、多くの人に目を向けてもらうことが重要。若い世代が興味を持ち主体性を持って活躍できる場としては、ワークショップが良いと思う。</p> <p>また、資料を拝見して、デジタル・漫画等のエンターテインメントを切り拓くことが必要だと感じた。現実に周囲で実施されているのか。</p>	委員
<p>マンガ・デジタルを行っている方々は「職業」で行っているので、行政の中で発表することは必要とされていないと思う。</p>	委員
<p>絵画教室を開いており、中高生との接点が多いが、今の若い世代はデジタルタブレット等で絵を描くことと、紙で描くことを並行してできる。</p>	委員
<p>私の知り合いでもタブレットで絵を描く方も多い。タブレットで浮世絵を描いたり、様々な風景画を描いたりしている。</p>	委員
<p>デジタルだと、色数などは修練をしなくてもかなり短期間で色の扱いができ、早々にイメージ通りに仕上がる。</p>	委員

<p>美術館がそういったことを教えてくれる場であつたら良いと思う。</p>	委員
<p>資料には「子どもたちの文化芸術の推進」と記載されているが、「子どもたち」の範囲を小学生だけでなく、中高生の10代の中盤から後半の子にも広げるのはどうか。自分の将来を考えた時に、実際にはやってみたいが、社会的に大人になったらできない、高校生になったらできないという理由で諦める子が多い。やりたいがそれを評価してくれる場所がない、やりたいがどのように実現したら良いのかわからない子が美術館を発表先として活用できれば良い。</p>	委員
<p>美術学校がないので、インストラクター等と契約していく必要が出てくる。</p>	委員
<p>社会に出ている人はプロとしてやっているが、そこに繋がっていく10代の子たちは、参入できないジャンルになってきており難しい。若い世代の育成を考えた時、川口で美術館があつたから、あきらめないで継続できた等になると良い。小学生を対象とすることも重要であるが、その上の世代の子たちのベースになるような、川口で育っていく、美術館があることよってプラスになるような土壌になると良い。</p> <p>また、川口の都市部（川口駅に近い側）に住んでいる子どもは都内や浦和や大宮の私立高校を受験することが多い。子ども世代でも人材流出がすでに始まっているため、優秀な人材を川口に戻すことが大切。</p>	委員
<p>色々な意見が出た中で整理すると、運営にも絡んでくる部分としてワークショップの必要性、および2-2の世代拡大という意見が出た。</p> <p>もう一つ重要な資料2枚目の運営について検討も進めたい。</p> <p>A：直営、B：指定管理、C：直営+委託 のうちの検討について。</p> <p>埼玉県の例を挙げると、県の文化会館があつたが、市の文化会館が多く設置され、県の文化会館が衰退してしまったという例がある。また県の職員が3年程で流動するという性格上、短期間で企画ができないと思う。企画を県の各文化会館がまとめて行うという意見もでたが、最終的には文化会館活動を停止させるという方針になった。</p> <p>さらに、日本の場合、公務員は規則の中で動かざるを得ない。公務員になってしまうと、優秀な人材であっても年収が決まってしまう。優秀なキュレーターをお招きする際、指定管理であれば柔軟に対応や自由裁量ができる。公務員であると難しい。</p> <p>また、森美術館が「春画展」を行った例について。役所では猥褻なものになるため「春画展」の企画は難しいと思うが民間運営であれば「世界に認められたアート」となり、企画展についての自由裁量がある。</p> <p>私の体験談や事例を申し上げたが、運営方法について提案が3通り（A・B・</p>	会長

<p>C) あったが、どのような方向で考えればよいか、皆さんに検討いただきたい。</p>	
<p>A・B・Cで分かれている管理について、今は指定管理者の時代が変わってきているが、指定管理者制度ができた頃は、現実には経費削減が第一の目的であった。ただその当時の指定管理者が頑張って現状を変えてきてはいるが、まだ力が弱いと感じている。指定管理者にどれだけ力があるのかが重要であり、これを公募で選定するのは難しいのではないか。</p>	委員
<p>多様性と絡んでくるが、館長を誰にするのか、それも大きい問題である。女性の館長は多いかと思うが、外国の方が館長をされている事例はあるのか。</p>	委員
<p>事例については存じていないが、直営の場合、外国の方は公務員にはなれないため難しい。指定管理であればそれは自由である。</p>	事務局
<p>館長でなくても、有名な方がアドバイザーのような形で力を貸してくれれば良いと思う。ただし事業予算がどれだけもてるかにもよると思う。</p>	委員
<p>川口の初めての美術館に外国の人を呼ぶ必要はないのではないか。できれば、川口市の美術館館長は川口市在住の方をお願いしたい。</p>	委員
<p>自身がコンサルしている千葉県の小さな市があるが、市の直営館を作った事例について。館長も市の職員であったが運営委員会に市民の方が入って、活発な多くの意見をいただいた。そのまま市の直営でやってきたが、10年経過した頃に指定管理になった。ただし、市民の運営管理制度は残して運営しており、その意見を活用している。</p>	委員
<p>指定管理であるとお任せするという発想になってしまうが、運営委員会等は残して共に作っていくことが重要。</p>	委員
<p>上記の例では、市民の中で専門家だと自負している方に代わり、若者の委員が入ってきて斬新な意見を言う場が変わっていった。そうすると急に市民が動き出し徐々に変化していった。そのような方が新しい指定管理者とともに企画し、「協働していく」という経験もあった。</p>	委員
<p>あまり例えがよくないかもしれないが、災害時の避難所運営が同様である。住民をいかにまきこむかが重要である。</p>	委員
<p>埼玉県の財団では、役所内に文化コーディネーターの役割をする方がいて、その方たちが積極的に意見をいうことでうまく続いていた。そのような方達</p>	委員

<p>がいと役所とのパイプとなり、予算もとりやすい。</p>	
<p>他の美術館も見てきているが、天下りの館長だとあまりうまくいってはいないと感じる。</p>	委員
<p>以前、埼玉県近代美術館の館長は副知事が担当していた事例もある。 また、Bの指定管理者では、指定期間が短期（3～5年程度）で運営の継続性や連続性が確保しにくいとのデメリットがあげられているが、川口市にて平成18年から始まっている指定管理者制度を採用している館の中で、実は指定管理者が変わった館はほぼない。指定管理者は5年間対応しており、毎回公募しているが、実際には5年ごとで変わることは川口市内の場合ほとんどない。</p>	事務局
<p>市としての課題でもあるため、例えば、「連続4期、20年まで」等といった期間の制限を設ける必要があるかもしれないが、問題を起こさなければある程度継続性が認められている。 →身近なところの例として、川口市の図書館はどうか。 →図書館は直営となる。（メディアセブンは指定管理）</p>	委員 事務局
<p>直営であれ指定管理であれ、市民が意見できる運営委員会を設けておくことが重要</p>	委員
<p>博物館法で「博物館協議会」を設置することができるようになっており、美術館も博物館であるため適応可能。美術館運営協議会を作っていることを考えている。</p>	事務局
<p>この審議会でも提案していく仕組みをしていただければ、美術館の運営について、市長に意見を出していくことができる。</p>	会長
<p>文化芸術審議会はより大きな枠組みで川口市の文化芸術をどう進めていくかを検討する機関であると認識している。反対に美術館の運営協議会はより小さな、美術館に特化した検討をしていくと想定している。</p>	事務局
<p>直営にしる、指定管理にしる、運営協議会から色々な意見をだして運営をしていくことが考えられると思うが、本日は意見の方向性として、A・B・Cのどちらの方式が良いのか。皆さんのお考えはどうか。</p>	会長
<p>一番は直営で運営審議会といった専門家集団があれば理想的である。ただ予算の問題もあると思う。</p>	委員
<p>指定管理者制度を開始した時は確かに予算削減が一つの大きな目的ではあったが、現在では少しシフトしていて、国から、指定管理者を決定するとき</p>	事務局

<p>に金額にて決定してはいけないという通知が出ている。経費削減という側面は今でも残ってはいるが、今ではかなり薄まっている。</p>	
<p>市民の中に、運営委員会に自分達が入って動かなければならないという危機感をもっていくことが必要。</p>	委員
<p>意見を言われたからといってできるというわけではないと思う。組織の難しい部分まで検討して進められる方が中枢に最低3人～5人程度いなければならないと思う。</p>	委員
<p>変になれ合わないで、きちんと話が通っていくようにすることが大事。一番怖いことがなれ合いである。一度選定した指定管理者を変えられないとなると、どうしてもなれ合いが生じてくる。役所は市民を主体に考えるからあまりなれ合いにならないが、公務員であると安心ではある。</p>	委員
<p>指定管理者になったとしても、市の中で担当者が変わるのではないか。そうすれば、なれ合いはなくなるのではないか。</p>	委員
<p>ケースバイケースである。職員が変わることに対しては、直営の場合は人事異動があるので変わる。民間の場合は組織による。大きな組織であれば担当者は変わってくると思われる。</p>	事務局
<p>アトリアが川口市内では分かりやすいモデルだと思う。アトリアが指定管理者になって1年目であるため、川口市に対してどのようなメリットがあるのか目に見えてフィードバックはできないが、体感的にはフットワークが軽くなったと思う。直営の時でも市民に丁寧なサービスをしていたので、直営、指定管理どちらも良い面もあると思う。アトリアの場合、館長が市の職員であるため、数年で変わってしまう。館長の方針により運営も大きく変わる。館長は直営のほうが変わりやすいのか？</p>	委員
<p>→直営のほうが館長は変わりやすいと思われる。</p>	事務局
<p>事業の継続性で考えると、学芸員の方の雇用期間も重要ではあるが、館長が2～3年で変わってしまうよりは、指定管理のほうが同じ事業の継続、長期的な運営はできると思う。</p>	委員
<p>リアはどうなっているのか。リアが指定管理であれば指定管理でよいのではないか。</p>	委員
<p>→リアは指定管理である。</p>	事務局
<p>これまでの意見をうけて、恐らくBかCの選択肢になるのではないか。運営会社の不安もあるが、リアの同様に民間の能力のある指定管理者にお</p>	会長



<p>願いし、協議会のような運営方針をだしながら指定管理者がその意見を踏まえながら運営していくのではと思う。</p> <p>また、開館まで2年となっている。指定管理者の場合は1年前には指定管理者を選択して、準備をおこなっていく必要がある。</p>	
<p>指定管理者になった場合、行政の方も審議会に入っただき、指定管理者と常にコンタクトをとってもらわなければならない。</p>	委員
<p>今回の検討会での報告書の内容が指定管理者を選定する際のマニュアルとなると思う。マニュアルをもとに指定管理者に手を挙げていただき、選定を行っていくための報告書が重要になっていくと思われる。</p>	会長
<p>指定管理者が川口らしさ等の方向性を認識して、可能ならば川口市の団体から指定管理者を選定できると良いと思うが、そのようなことも含めてたたき台としてほしい。</p>	委員
<p>民間の人たちが表にたたないと実施できない。運営委員会の中に行政の人や市民が入り、指定管理者と協調しながら実施できれば良い。</p> <p>また、別の委員会で感じたことだが、意見だけではなく、一緒に考えて動いてくれる方たちと共にやっていきたい。</p>	委員
<p>出た意見をふまえ、本日の作業部会では、運営方法はBであると方向性としていたい。</p>	会長
<p>他にご意見がありますでしょうか。</p>	会長
<p>駅からのアプローチについて、アトリアを訪問して歩いてきたが、2つをつなぐ動線を考える必要がある。1階のブリッジ部分が暗いため、そのあたりも改善したい。</p>	委員
<p>確かにその動線は使いづらいと思っており、アトリアとの動線で一番良いのは公園だと思う。歩いていく中で彫刻も多くあるため文化的な動線になると思うが、線路を越える良い動線がない。</p>	事務局
<p>それについては長期的に通勤ホームの拡張検討なども踏まえて、駅全体の都市計画などで検討して行ってほしい。</p>	会長
<p>川口では現在、川口駅周辺の街づくりビジョンを作り、美術館やリリア等を含めて、駅近辺の回遊性の向上を定めている。資料にも情報発信を高めるための環境整備が書かれているので、このあたりの内容を厚くしてもらえ</p>	事務局

<p>と、市の街づくりビジョンにもリンクしてくる。</p>	
<p>回遊性で追加検討するならば、キュポラの図書館とリアのアクセス性も考慮していただきたい。現状は一度川口駅を介さなければならない。図書館・音楽ホール・美術館が一直線に繋がるのであれば素晴らしい。</p>	委員
<p>その点に関しては今後駅舎の改修等もあると思う。ホームの増設等の駅舎改修の検討段階にて検討を進めていきたい。</p>	事務局
<p>資料の「自然から色をつくる」ということが非常に面白いと感じた。学校の授業の生活科と図工を融合させられるのでは。ワークショップを実施する際でも、こういった教科につながると提言していただけると良い。</p>	委員
<p>教育委員会のほうにも良い提言になってくる。</p>	会長
<p><b>【5 終了】</b></p>	